

非営利法人ニュース

2020年
9月号
Vol. 88



発行 公益総研 非営利法人総合研究所
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814
編集協力 (特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

★★ 返済のない奨学金のお知らせ ★★

【1】「タクト奨学金」

『税理士または公認会計士資格の取得に専念する25歳以下向け奨学金』

- 応募資格：学生または就労していないこと
かつ、以下の①または②を満たす者
 - ①税理士試験2科目以上合格していること
 - ②公認会計士試験を1回以上受験したことがあること
- 募集期間：2020年10月30日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2020年度の奨学生は10名程度を採用とする
- 給付等：年額20万円を支給します

【2】「中村道子奨学金」

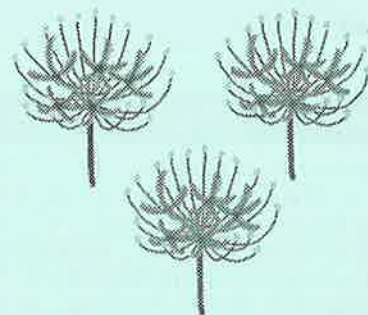
『介護福祉士を目指し専門学校へ進学する高校3年生対象』

- 応募資格：2021年3月卒業見込みの高校3年生
2021年4月に一都三県（東京・神奈川・千葉・埼玉）の
介護福祉士を目指す専門学校へ現役で進学すること
- 募集期間：2020年11月30日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は3名程度を採用とする
- 給付等：専門学校2年間（24か月）、年額50万円を支給します

【3】「逸男記念 再チャレンジ奨学金！」

『一度進んだ道を軌道修正して再チャレンジしたいが、
経済的理由により困難な学生向け』

- 応募資格：医療・福祉・看護に関係する大学又は専門学校に進学
- 募集期間：2021年1月12日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は3名程度を採用します
- 給付等：大学（専門学校）在学中 年額60万円（合計240万迄）を支給します



◎情報満載！今月のもくじ◎

奨学金情報	1
非営利法人関連情報	2,3
CEOコラム	4
編集後記	4

☆奨学金応募先等☆

【1】【2】【3】奨学金

→公益財団法人公益推進協会

応募用紙等郵送先

〒105-0004
東京都港区新橋6-7-9
新橋アイランドビル2階
(公財)公益推進協会
担当 高野宛

- ・タクト奨学金
- ・中村道子奨学金
- ・逸男記念再チャレンジ奨学金

お問い合わせ

03-5425-4201

(問合せ対応時間：平日10時～18時)

※詳しくは、財団ホームページ（<https://kosuikyo.com/>）をご覧ください、
申込書等はHPよりダウンロードし、必要事項を記入して提出してください

※奨学金、助成金情報はリンクフリーですので、ご自由にリンクしていただき情報提供をお願いいたします

「あなたは病気で仕事を辞めますか？」



公益総研株式会社 主席研究員兼CEO
公益財団法人公益推進協会 代表理事
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也

今回の安倍総理の辞任を受け、改めて「潰瘍性大腸炎」という難病は「不治の病」「かかったらおしまい」的なイメージを強めた人は多いのではないだろうか……。今回初めて知ったのだが、安倍総理は前回の辞任の直前ではなく、中学生の時からこの難病に苦しめられていたらしいのだ。その第1次安倍内閣発足後、2007年に突然の辞任を表明した当時は、下痢や血便、強烈な腹痛で1日20回以上もトイレに駆け込み、満足に眠れない夜が続いていたと報道されたのだが、今回も恐らくそうだったのだろうか……。一国のトップを2度にも渡って辞任に追い込むとは、潰瘍性大腸炎、恐るべし。

あれ???何か聞いたことがある病気だなあ……。そう！実は私もこの難病の患者だったのだ！！

今から3年前くらいだったか、本当にその当時は、安倍ちゃんの苦しみがよくわかったくらい、仕事をするのがとてもつらかった。もちろん、日本一仕事をする男と異名をとる??私のことだ。仕事を休むようなことはなかったが、相手に具合が悪いことを悟られないよう、職員に要らぬ心配をかけないよう、顔で笑って、でも全身冷や汗の連続だった。本当につらかった……。え???今は???

そう、難病なので完治はしないらしいが、自分にとっては完治したと思っている。もちろん、安倍ちゃんみたいに再発する恐れが十分あるので、気にはしているが……。ただ、大部分の患者さんは仕事や勉強との両立をなし得ているのがこの病気なのだ。難病指定されているのにダ！完全に治すことはできないまでも大部分は薬物療法等の治療によって回復し、症状が出ないよう薬でコントロールしながら、病気になる前と同じ生活が続けられているというのである。私は自分を完治させたと思っている「漢方」を欠かしたことがない。(完治したと思っても飲み続けているのだから、本当は完治ではないのかもしれないが……)

さて、あなたならどうするだろうか？仕事辞めますか？辞めても養ってくれる人がいるのであれば、それは休養すべきだろう。しかし、私のように、家族や職員のために、おそれと休養などできない人はたくさんいるだろう。もし、毎日苦しい時間が訪れるような病気になっているのであれば、治療と仕事の両立を続けるには、やはり働き方のコントロールが重要だろう。再燃や重症化してしまう人は大抵、忙し過ぎて薬を指示通りに服用できなかつたり、軽症のうちに受診することができなかつたりして、それを放置してしまう人ではないだろうか。

私は気合と漢方で克服したが、私と同じようなことが普通の人にはできないだろう。なので、病気を悪化させないためには、可能であれば病状に合わせて継続できる仕事に転職したり、病態悪化時は周囲を頼ってお休みしたりすることが理想的だ。

例えば、自営業や経営者であれば、それまで社長として先頭に立って陣頭指揮を執っていたら、そういう働き方をやめて、職員にほとんどの仕事を任せて監督だけに徹するとか、お医者さんなら、ある程度時間の自由の効く(特に夜勤のない)仕事に転職したりとか、サラリーマンなら簡単に休みが取れないような職場ではなく、休みがとりやすい職場に異動をしたりとか……。だが、そんな甘い職場ばかりではないだろうから、やはりここは制度を作るしかないだろう。「働き方改革」が進む昨今だが、上に立つ人間ほど、自分の働き方を改革するのは難しい。社長であれば、私のように、正月からほとんど一日も休まず仕事をしている人もいるのだ。潰瘍性大腸炎のような一生付き合わなければならない病気にかかってしまった場合には、自分自身に対して思い切った改革を実行するには、そういう制度を作ってもらえないだろうか。

そういう意味で、安倍ちゃんがここは試金石となって辞めないでほしかった……。安倍ちゃんが総理の仕事が病気でもできるようになれば、きっとそのような制度を厚労省も作って、病気で苦しんだり悩んだりしている多くの人を救うだろう。安倍ちゃんにはぜひ辞任を撤回して、病めるものの立場となって、それでも仕事ができる社会にしてほしい。だって、日本では毎年約1万人、潰瘍性大腸炎の患者数が増加しており、2017年の統計では20万人以上の患者がいると推定されている。潰瘍性大腸炎以外の病気も星の数ほどあるし、苦しんだり悩んだりしている人も星の数ほどいるだろう。難病だから、罹患したから仕事を辞めるっている風潮には絶対になってほしくない。そうなっても、仕事が続けられるシステムをぜひ構築すべきだし、それができないとますます人口減で、人が足りなくなって日本経済がますます停滞するだろう。

ということで、私は今日から仕事を半分にします!!! なーんて、できればいいなあ……。死ぬまで無理かも(笑)

……CEOコラムバックナンバーはこちらから→ https://www.iva.jp/nposouken/ceo_column.html

編集後記

先週の大型台風10号。九州在住の親戚は、家近くの川が氾濫の危険性があったため早々に避難したそうです。結果、予報ほどの被害もなく帰宅し、「何もなくて良かったね」で済みました。台風慣れしている地域だからこそ、いつもと違う状況の時は早めの避難を心がけています。「あの時避難しておけば…」と後悔しないためにも、災害の危険性があるときは早めの避難をお勧めします。(しせん)